



私たちは、ヨーロッパの伝統的なビール文化を尊重し、手づくりの本格ビールを通して、ビールにも選ぶ楽しみを提案します。食卓がもっと豊かに、ハッピーなものになるよう、地元岩手よりビール文化を発信していきます。

ベアレン醸造所スタッフ一同



これぞ、ベアレン味。

寫田 洋一 | 代表取締役社長

「これぞ、ベアレン味」、今年の新しいテレビCMのキャッチコピーです。5月末から岩手県内各局にて放送されていますが、ご覧になられたでしょうか。常連のお客さまより、よくベアレン味であるよね、と言われる。年間で50種類にも上る製品を発売しながら、もちろん

それぞれに味いは違うのですが、そこに共通するベアレン独特の味わいがあるということだと思えます。お酒の味わいの肝心な部分は、余韻だと私は思っています。多くの人はお酒を口当たりやのど越しなどで、味わいの前半部分だけで判断するので、「飲みやすい」という感想が多くなります。味わいから飲んだ後の余韻に至る後半部分を重視すると、きつと、お酒の味わいは違ったものになるのではと思えます。特にビールは、大手のCMに見られるように、のど越しに注目されがちですが、もう暑いときにごくごく飲む止渴飲料としてのビールの役割は終わっていないのではないのでしょうか。これからビールは、その味わいを楽しみ、食事とともにゆっくりと味わうお酒になっていくのではないかと思います。それこそが

クラフトビールの醍醐味であって、ベアレン味こそ、ベアレンビールを飲む楽しさなのではないかと思えます。自社調査によれば、ベアレンビールは岩手県民の7割以上の人がブランドを認知され、半数近くの方々に飲用経験があります。しかし、そういえば最近、ベアレン飲んでいないなあ、とか、限定はたまに飲むけど、定番クラシックは最近お店で買っていないな、という方も多いのではないのでしょうか。クラフトビールは食事シーンを豊かにする、味わい深いビールです。ちょっとしたことがあったとき、自分にご褒美をあげたいとき、ベアレン味でそんなひと時を過ごしてみませんか。ベアレンビールが出来てから23年、今年は改めてベアレン味で多くの方の食卓をハッピーにできるよう、取り組んでいきたいと思っています。



各アカウント一覧はこちら↓

リレーエッセイ

井上 菜々美 | 営業部業務課

龍之介くんからバトンをもらいました、リレーエッセイは6年ぶり!? 業務課の菜々美です。前回のリレーエッセイは、2人目の育休復帰後で、まだヨチヨチ歩きだった息子も今では2年生。体力が底知れません。

6年ぶりといえば、昨年、地元町内から山車が出ました。盛岡の秋祭りです。昔のリレーエッセイでも秋祭りについて書いた気がしますが、それくらい私にとって大きなイベントなのです。ここ数年は、母と子どもたちと一緒に参加しています。せっかくだらぬなら何か芸を身につけたいと思い「音頭上げ」をやっています。音頭上げは、歌舞伎や歴史上の名場面を題材にした山車演目の様子を七・七・七・五調で歌うものです。6年前は言葉の意味も曖昧なまま、



次は、哀愁漂う音頭を披露してくれた周吾さん、お願いします!!

節に沿って歌うことで精一杯でしたが、最近の演目の情景や登場人物、言葉の意味を調べてから歌うようになりまし。そうすることで声に抑揚が付くのでは!! と思っているのですが、なかなか簡単にはいきません。ただ、意味を知ることでも普段聞き慣れない言葉でも場面をイメージしやすくなる人たちにも情景が伝わるような音頭を上げられたらと思っています。盛岡の秋祭りで山車を見かけた際は、ぜひ「音頭上げ」にも注目してみてください。

今月の新製品

菅原 奈々 | 総務部

皆さんはベアレンのラードラーシリーズの中で一番好きなものはなんでしょうか? さて、今月は、大分と岩手をつなぐ和柑橘ビール「かぼすラードラー」をご紹介します。

本商品は、大分県産のかぼす果汁を使用した創造性溢れる逸品。香料無添加、フレッシュなかぼす果汁を加えた新感覚の一杯は、レモンラードラーとは一味違った仕上がりです! アルコール度数2.5%と低めで飲みやすく、苦いビールが苦手な方にもおすすすめです。レモンより「和」を感じる青々しい香りと渋み、柔らかい酸味が、特に和食やから揚げ等のお料理と相性抜群です。暑くなってくるこの季節、清涼感あふれる味わいをお楽しみください!



編集後記

都鳥 勇介 | 総務部

青葉がまぶしく、初夏の風が心地よい頃となりました。新年度の慌たしさもひと段落し、少しずつ落ち着きを取り戻してきました。日が続くわけではないこの時期は、夕暮れのひとつときに味わうベアレンも、またひと味違って感じられます。

今月の一挙 岩手県産 和柑橘ビール「かぼすラードラー」の発売。先日、岩手県庁を訪問し、昨年度販売した寄付付きギフトセットの売上の一部を三陸防災復興ゾーンプロジェクトへ寄付させていただきました。ご購入いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。

スプリングフェスト2026

吉田 仁紀 | 営業部直販課

5月2日から6日までの5日間にわたって開催された「ベアレンススプリングフェスト2026」にお越しくださいました。皆さま、本当にありがとうございました！

毎年恒例となるスプリングフェストですが、今年はいつもと違い5日間という長期間での開催となりました。期間中は天候にも恵まれ、多くのお客さまにご来場いただきました。樽生ビールは、定番商品からイベント限定商品まで幅広くご用意いたしました。中でも特に「木樽ビール」が好評でした。木樽ならではのまるやかな口当たりや雰囲気も相まって、多くのお客さまにお楽しみいただきました。普段のサーバー提供とはまた少し違った味わいや特別感だったのではないのでしょうか。「木樽で飲むとまた違う」「この味を楽しむにしていた」といった声も多く、スタンプにとっても印象に残る場面となりました。

ステージではベアレンスやロ、バンド演奏など、さまざまなパフォーマンスが行われました。音楽に合わせて手拍子をしたり、一緒に歌ったりと、会場全体で盛り上がる場面も多く見られ、ビール片手に特別な時間をお楽しみいただけただけではないでしょうか。5月5日のこの日には、お子さま向けの企画も実施。大人だけでなく、ご家族でも楽しめるイベントとして、多くの方がご参加くださいました。小さなお子さまの笑顔や楽しそうな声が響く場面もあり、会場をより一層明るく盛り上げてくれました。また、多くのお客さまから「今年も来ました！」といった声をたくさん頂戴しました。会場で直接感想を聞くことができるのも、イベントならではの楽しさだと感じています。今年は開催日数が増

レストラン便り

今野 克伸 | 菜園マイクロブルワリー

4月23日「地ビールの日」にあわせ、直営店2店舗にて一日限定の特別提供を実施しました。今回ご用意したのは、ドイツ・ミュンヘンの名門「アウグステイナー」より特別に輸入した木樽。その中身は、無濾過で仕上げたクラシックケラーです。ガス圧を使わず自然の力で注ぐこの提供方法は、炭酸がやわらかく、モルトの甘みや香りがより立体的に感じられるのが特徴で、普段とはひと味違う『本来のビールの姿』を体感できる一杯となりました。

当日は開店直後からSNSをご覧になったお客さまが続々と来店され、店内は早い時間から活気に包まれました。木樽から注がれる様子をスマートフォンで撮影する方も多く、提供の瞬間そのものを楽しんでいただいている様子が印象的でした。実際に口にされたお客さまからは、普段飲むクラシックとの違いに驚く声も多く、香りや口当たりの変化



下のコックをひねると、重力の力でビールが出てきます

を興味深く味わっていただけでしょう。また、日頃よりご利用いただいている馴染みのお客さまに加え、今回の企画をきっかけに初めてご来店くださった方も多く、新たな出会いと会話が生まれたことも大きな収穫でした。結果として各店20Lの木樽は、わずか4時間足らずで完売。改めて、このような体験型の取り組みがお客さまと私たち双方にとって価値ある時間になると実感しています。

今後も、ビールの新しい楽しみ方を提案できる機会を大切にしながら、気軽に立ち寄れる場所として磨きをかけてまいります。ご来店いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

えたことで、これまで以上にさまざまなお客さまにご来場いただくことができました。期間中何度も足を運んでくださった方も多く、スプリングフェストが春の恒例行事として皆さまに親しまれていくことを改めて実感した5日間となりました。これから人も人がつながり、笑顔になれる時間をお届けできるような最高のイベントを作っていきます。今後のイベントでも皆さまとお会いできることを楽しみにしております！



ブランディングチーム

大越 愛奈 | 営業部業務課

ブランディングチームでは「カタチにしました」という日々のちよつとした困り事や気になることを楽しくできるような活動を行なっています。今回は、先日のスプリングフェストでの取り組みをご紹介します。まずはフォトスポット。フェストの思い出をより華やかに残して

いただけるようポスターのクマさんと動物たちを大きく壁面へ再現しました。工場のレンガ壁を背景に緑のクマさんと乾杯！ベアレンらしい写真を楽しめるスポットとなり、多くの方がご利用くださいました。続いて、お子さま向けのクイズ企画です。会場内に隠されたベアレンや岩手にまつわるクイズを探すワクワク感と、クイズを通してベアレンのことを知っていただく内容としました。また、こどもの日限定でポツ

わたしとベアレン

高田樹 さま

私がベアレンビールと出会ったきっかけが司さんとのつながりです。司さんが毎日投稿しておられるSNSを通して知り合いました。そこから、お互いの走ることの挑戦を応援しあっている中で、一の関係性をすごく大切にされる方だと感じました。共通の知人が大阪で集まる機会があったのですが、そこで用意されていたビールもベアレンでした。その場に司さんはいなかったのですが、関わった人、一人一人を大切にされているからこそだなと感動したことを覚えてます！走った後に呑むビール、大好きな仲間と呑むビールは最高です！そして、司さんが手掛けたビール、誰が作ったものを呑むか？岩手県産原料を100%使った誰が作ったかが見える『つながりビール』が新しい価値観を繋いでくれました。つながりをくれたベアレンビールありがとう！

ブコーンをプレゼント。出来立てを缶サイズの容器に詰め、ご家族で乾杯を楽しめるよう工夫しました。最後に、お見送りうちわです。シャトルバスの発車に合わせてメッセージ入りのうちわをスタンプで振りながらお見送りました。足を運んでくださった皆さまに笑顔と感謝の気持ちをお伝えし、帰り道も思い出になるよう、心を込めてお見送りました。

今後も皆さまにより楽しんでいただけるよう、チーム一同取り組んで参ります。次回のオクトーバーフェストもぜひご期待ください！

